

第73回 高知県社会福祉大会開催要綱

大会テーマ 多機関協働でつくる地域共生社会の実現を目指して
～誰一人取り残さないための第一歩～

1 開催目的

コロナ禍の収束が直ぐには見通せない中で、経済的困窮に加えて、人と触れ合う機会の減少に伴う家庭や地域内での孤独や孤立化などに起因する問題が顕在化・深刻化を見せております。こうした中、県内におきましても児童虐待や既存の支援制度の枠組みでは対応の難しいケースが増加するなど、地域福祉を取り巻く状況はその厳しさを増してきております。

このような複雑・多様化する課題に制度の垣根を超えて柔軟に対応して行くためには、「今、自分達にできることは何か、どのように協働していけばいいのか。」といったことなどについて、関係者間で知恵を出し合い、ネットワークを再整備することが何よりも求められているものと考えます。

こうした視点に立ち、今回の高知県社会福祉大会では、多機関が協働して地域で取り組んできた相談・支援活動の実践例を参考に、支援を必要としている困窮者を誰一人取り残さないための関係機関の連携の在り方をメインテーマに据えて、開催することとします。

併せて、多年にわたり本県の社会福祉の発展に功績のあった方々を顕彰し感謝の意を表します。

2 主催 高知県、社会福祉法人高知県社会福祉協議会、社会福祉法人高知県共同募金会

3 共催 高知県民生委員児童委員協議会連合会、高知縣市町村社会福祉協議会連絡会、
高知県社会福祉法人経営者協議会

4 後援 高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、
KSSさんさんテレビ（予定）

5 日時 令和4年11月16日（水） 12:30～16:00

6 会場 高知県立ふくし交流プラザ 2階 多目的ホール

※Zoom または YouTube によるオンライン配信も行います。

高知市朝倉戊375-1 TEL 088-844-9007

7 参加対象者 会場への参加者は、被表彰者及び付き添いの方に限らせていただきます。

（※Zoom または YouTube の視聴はどなたでも可能です。）

8 大会事務局 高知県社会福祉協議会 総務企画課

高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ内

TEL 088-844-9007 / FAX 088-844-3852

【日程は裏面参照】

日 程

11:30～12:30 受付

12:30～14:00 開会・表彰式典

14:00～14:15 休憩

14:15～16:00 パネルディスカッション

「多機関協働でつくる地域共生社会の実現を目指して

～誰一人取り残さないための第一歩～」

【実践発表】

社会福祉法人四万十市社会福祉協議会

地域福祉係 主事 小谷 真司 氏

社会福祉法人四万十市社会福祉協議会地域福祉係主事。
コミュニティソーシャルワーカーとして、分野・属性を問わない幅広いニーズに対応している。近年、増加傾向にある制度の狭間にある個別課題への対応といった面では、多職種連携・地域連携を推進し、個別課題を起点とした支援ネットワークの構築に努めている。

特定非営利活動法人ブルースター

就労サポートセンターかみまち 所長 澁谷 文香 氏

特定非営利活動法人ブルースター就労サポートセンターかみまちの所長を務める。地域で暮らす障害者や若者に対して、生活支援事業と相談支援事業、就労支援事業をコーディネートしている。
就労支援事業については、サポート開始から就職後まで切れ目のない細やかな支援を提供している。令和4年度からは、就労体験拠点設置事業を県から受託し、障害者や生きづらさを抱えた人への支援に取り組んでいる。

社会福祉法人同朋会

児童家庭支援センターひだまり 心理担当職員 高橋 妙子 氏

社会福祉法人同朋会児童家庭支援センターひだまりの相談員（令和4年8月1日より心理担当職員）。
令和3年度より法人において子どもの食等支援事業「たんぽぽ」の取り組みを開始し、支援を要する家庭に必要物品を届けることにより、家庭の抱える課題に寄り添い孤立を防ぐとともに、ニーズの把握に努めるなど関係機関とのさらなる連携強化を目指している。

【コーディネーター】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会

地域支援グループ長（兼）ボランティア・NPOセンター所長 半田 雅典

16:00 閉会